

県内の毒物及び劇物使用状況 調査について

石巻保健所獣疫薬事班 萩原

平成26年 2月14日

はじめに

毒物・劇物について

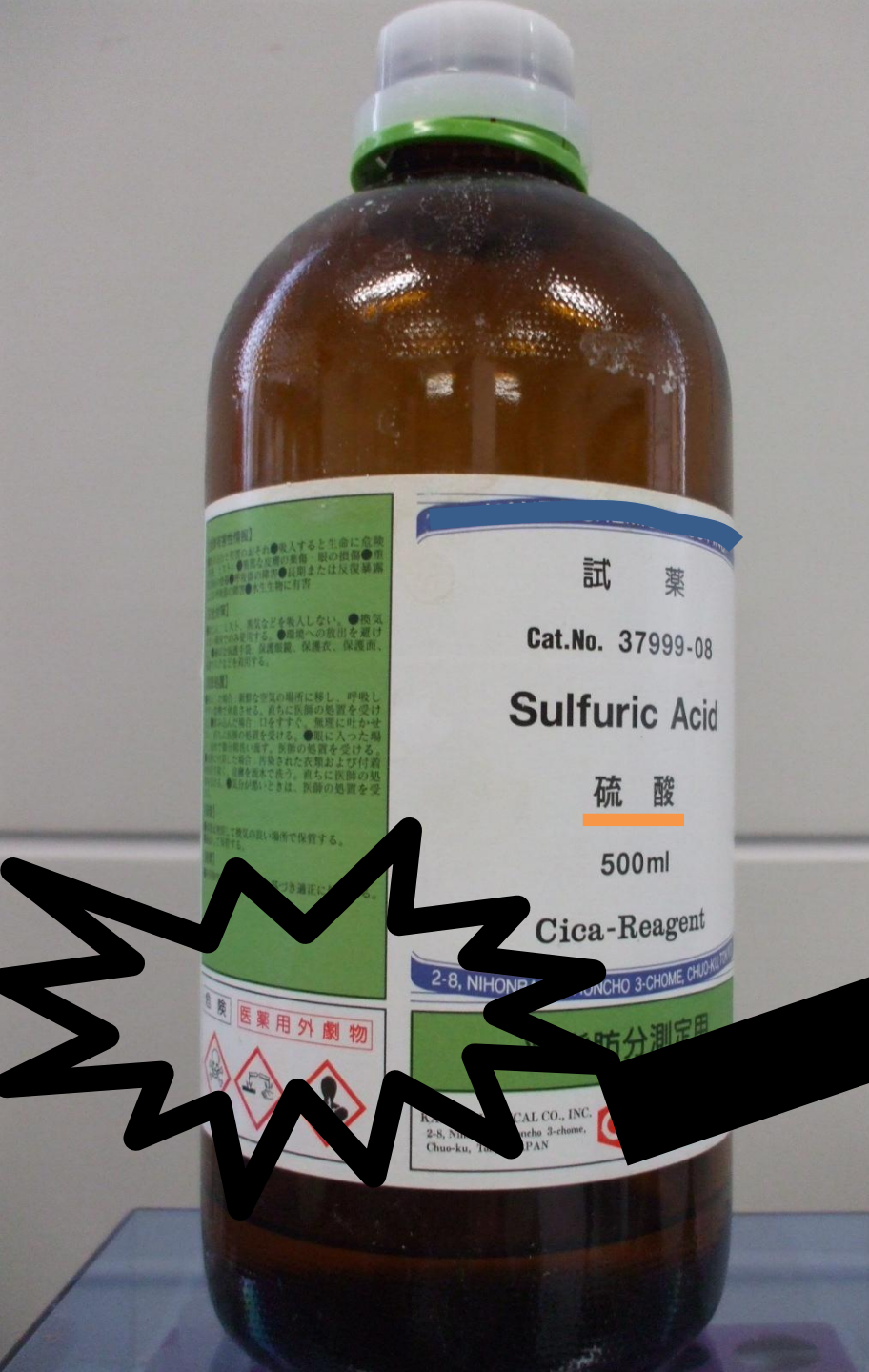
毒物及び劇物とは、毒性または劇性をもつ
医薬品以外のものの総称

毒物劇物については、「毒物及び劇物取締法」別表で具体的な物を列挙

→約500種類の物質が指定

水酸化ナトリウム・塩酸・硫酸など

規制を設けている(例:取扱・表示・保管)



試薬

Cat.No. 37999-08

Sulfuric Acid

硫酸

500ml

Cica-Reagent

2-8, NIHONBASHI HONCHO 3-CHOME, CHUO-KU, TOKYO, JAPAN

医薬用外劇物



危険

医薬用外劇物



KANTO CHEMICAL CO., LTD.
2-8, Nihonbashi Honcho 3-chome,
Chuo-ku, Tokyo, JAPAN

毒物劇物を取扱う事業所全てが 毒物劇物取締法により規制を受ける

登録届出の必要な事業所

毒物劇物の製造や販売

1395事業所

登録届出の必要ない事業所

工場や学校

不明

経緯及び目的

東日本大震災では、沿岸部を中心に所有者不明の毒物劇物の漂着が相次ぎ、対応に苦慮した

宮城県地域防災計画で毒物劇物を大量保管している事業所を把握することが求められている

登録や届出が不要な事業所についても把握する必要がある

平成16年度調査を実施したが、調査から10年が経過し、更新が必要

毒物劇物に係る保有状況・管理状況・事故時の体制を把握するために、アンケート調査を実施

所有者不明の劇物



県内全域の毒物劇物取扱事業所の把握が必要

調査概要

「平成16年度調査」の中から

- ①毒物を取り扱っていた事業所
- ②劇物を1立方メートル以上のタンク等で保管していた事業所

③「宮城県工場通覧(平成24年版)」に掲載されている工場



調査対象事業所
986件

調査内容

(1) 取り扱い状況

(2) 保管状況

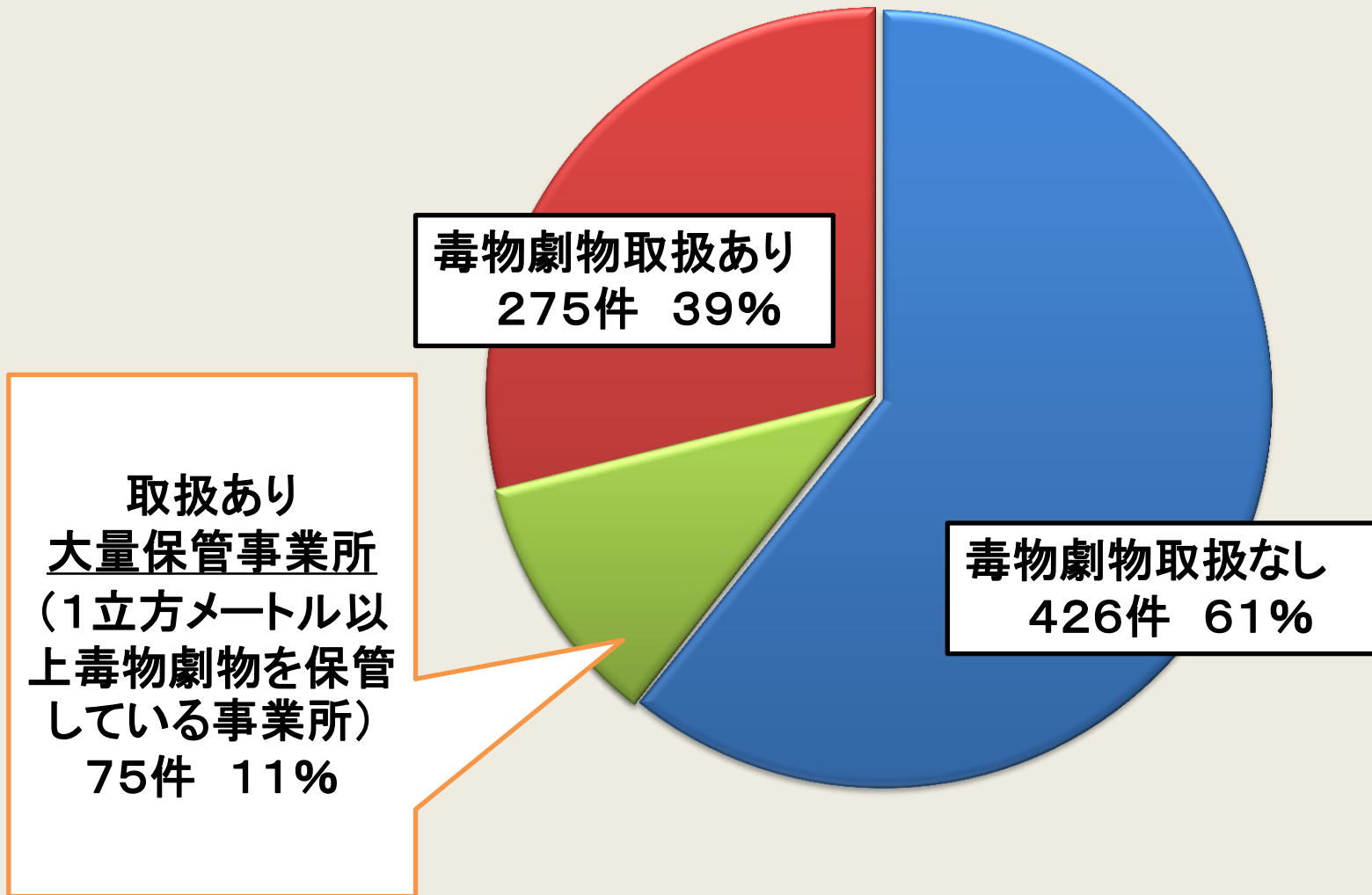
(3) 東日本大震災時の毒物劇物による被害

(4) 具体的名称の毒物劇物の取り扱い状況

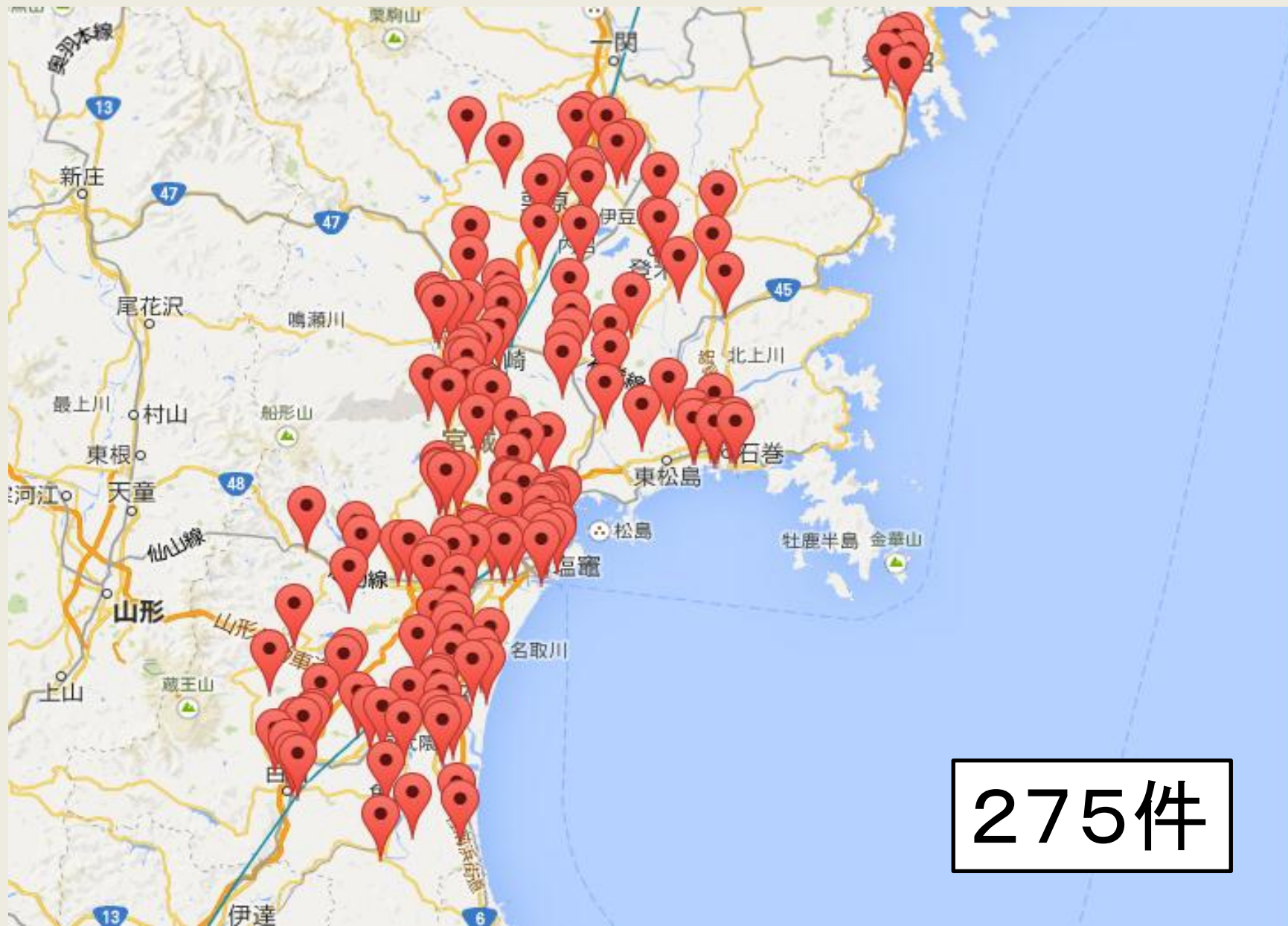
回答率71% (986件中701件)

調査結果

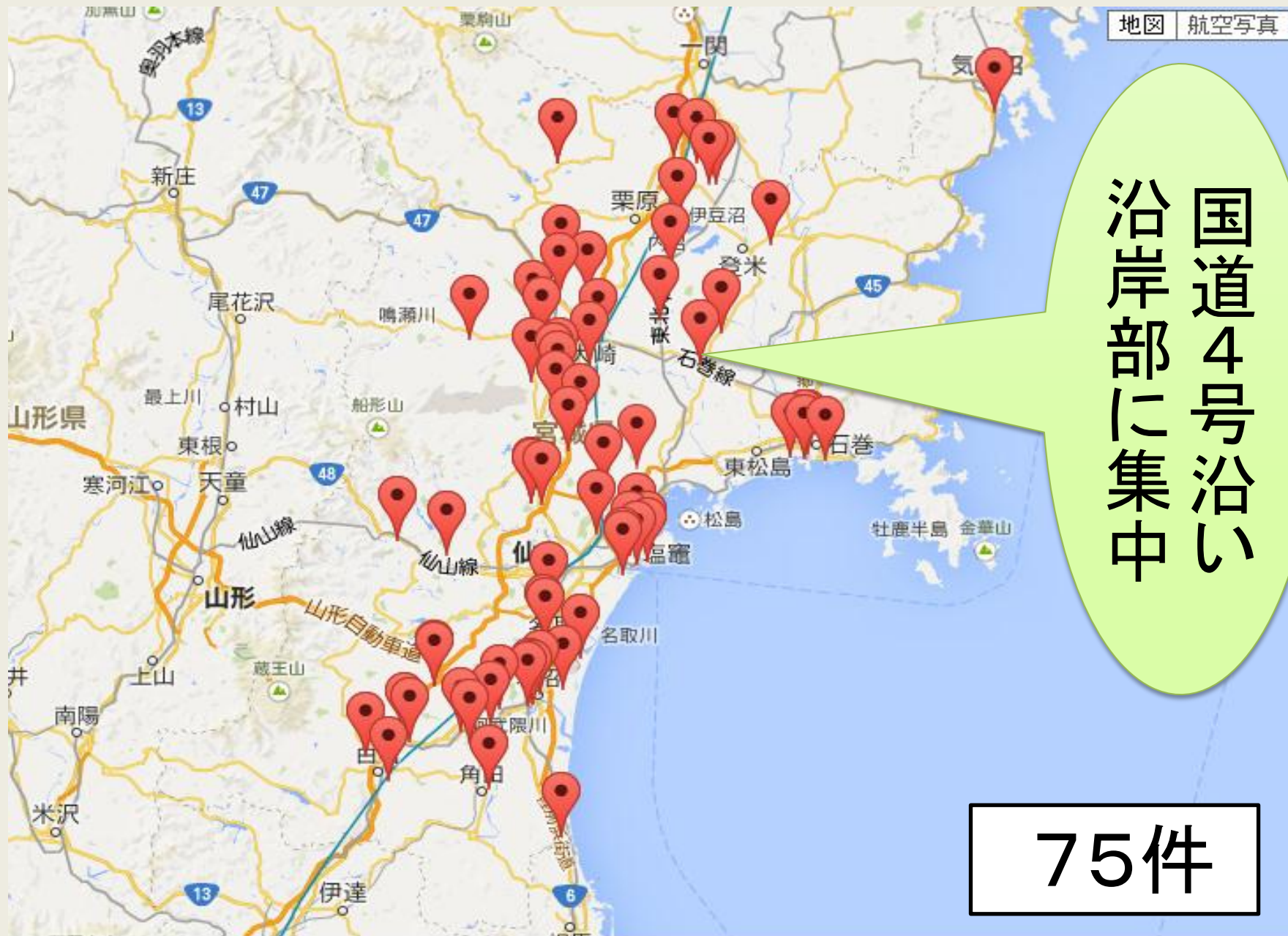
(1) 取扱状況



毒物劇物の取扱事業所の分布状況



大量保管事業所の分布状況



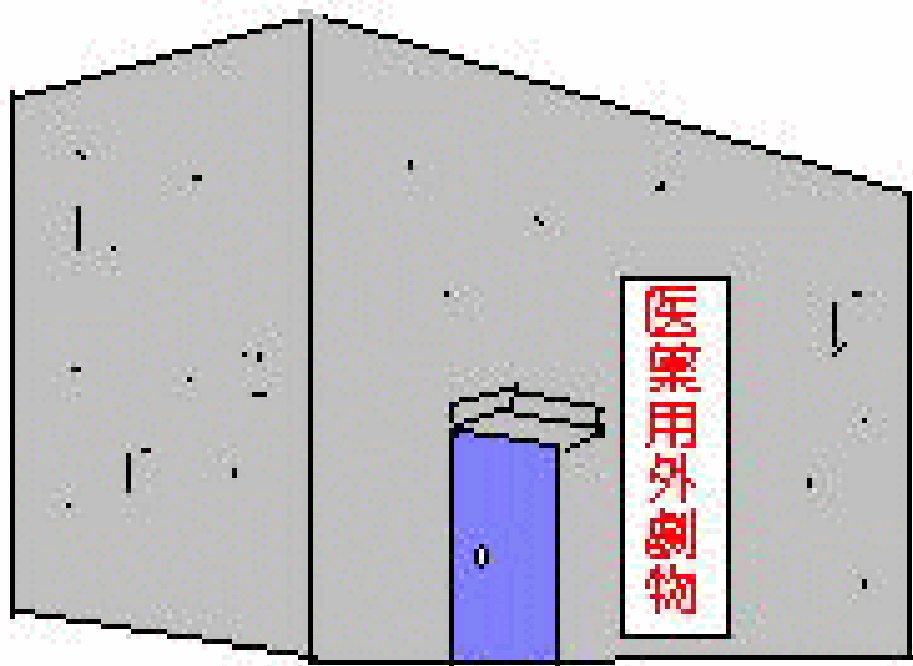
毒物の取扱状況

毒物の種類	毒物保管事業所数 76件(複数回答)		大量保管事業所数 5件(複数回答)	
	件	%	件	%
フッ化水素	29	38.2	4	80.0
アジ化ナトリウム	20	26.3		
無機シアン化化合物	16	21.1		
水銀化合物	8	10.5		
ヒ素化合物	8	10.5		

劇物の取扱状況

劇物の種類	劇物保管事業所数 271件(複数回答)		大量保管事業所数 75件(複数回答)	
	件	%	件	%
水酸化ナトリウム	132	48.7	50	66.7
硫酸	76	28.0	18	24.0
塩酸	75	27.7	27	36.0
メタノール	42	15.5	5	6.7
水酸化カリウム	30	11.1	2	2.7

調査結果 (2) 管理状況



他の物と区別して、カギをかけて、

表示をして、飛散防止対策を行い、保管する。

毒物取扱事業所275件

①毒物劇物の貯蔵場所の施錠



②飛散防止対策の有無



③貯蔵場所の表示の有無



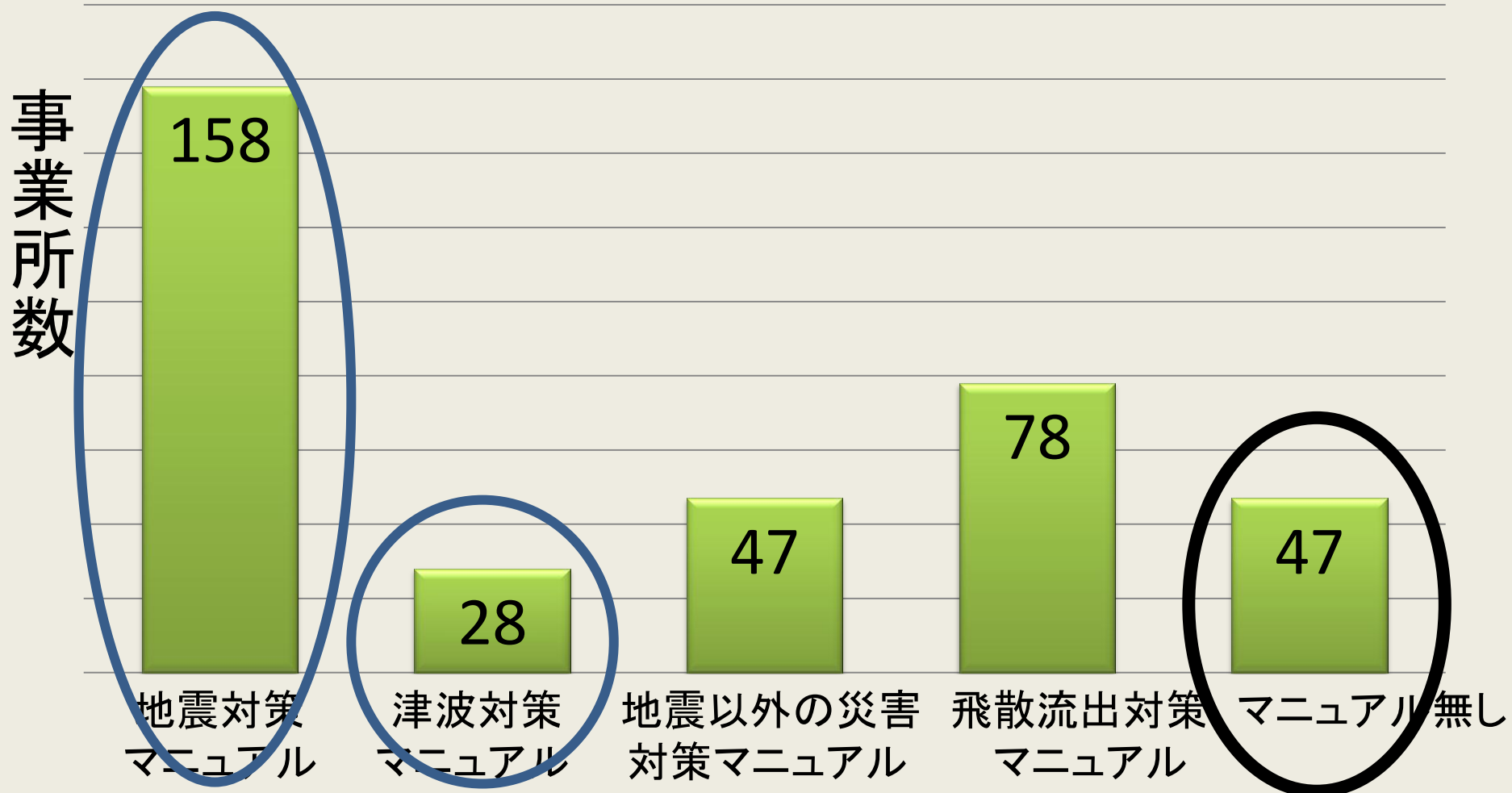
④専用保管場所の有無



赤色＝不適正管理

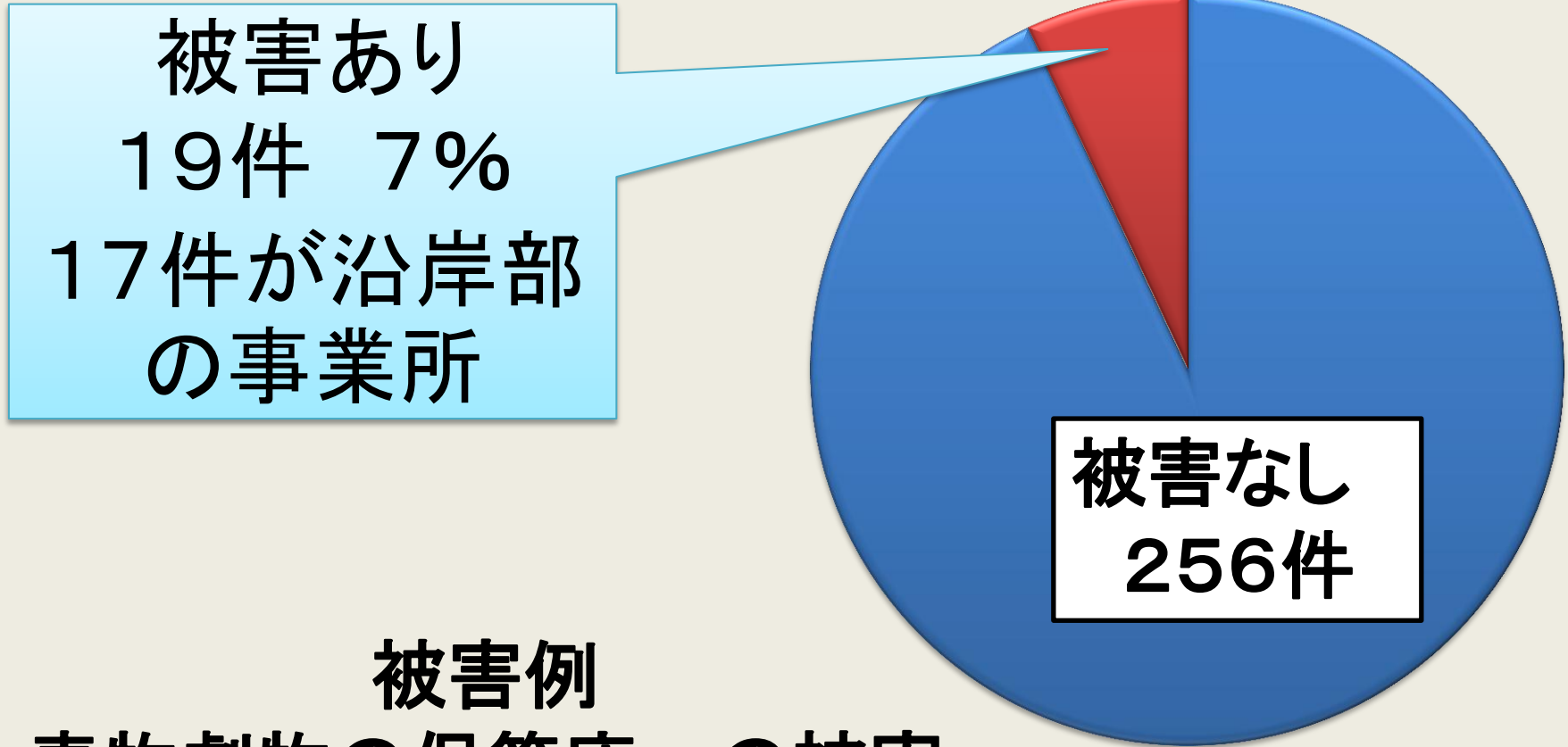
調査結果

(3) マニュアル整備状況



調査結果

(4) 東日本大震災による被害



被害あり
19件 7%
17件が沿岸部
の事業所

被害なし
256件

被害例

毒物劇物の保管庫への被害
毒物劇物の飛散流出 など

東日本大震災によって流出した アンモニアボンベ



まとめ

(1) 事業所に関する情報が把握できた

事業所へ情報発信や災害時の状況把握に活用

(2) 毒物劇物の取扱量や種類が判明できた

地域ごとの取扱量を基に、個別物質への対応策を各地域の保健所で検討する必要がある

(3) 不適切な管理状況が判明

継続的な指導や講習会の実施が必要

(4) 沿岸部の被害が多かったため、津波による被害が多い


**事業所に流出防止対策を講じてもらうよう指導
また流出が判明次第、関係機関に連絡を入れるよう周知
することが必要**

今後に向けて

宮城県地域防災計画に沿って、
毒物劇物取扱事業所を把握し、指導していく
そのため、同様の調査を
引き続き行っていく予定



目標



どこの事業所が、何を取扱っているのか
県内全域にわたり把握し、
有事の際に被害を最小限に抑える。

終